

2018. 3. 25.

松江城調査報告会

石垣から考える松江城

栗岡 実（松江市史編松江城部会専門委員）

1. 城石垣とは

- (1) 城郭石垣の役割
- (2) 石材の種類と産地
- (3) 石垣のつくり

2. 新様式の石垣

- (1) 石垣修理を示す江戸時代の絵図や文書
- (2) 構造の特徴と年代　－落積み・森山石使用－
 - ・腰曲輪北面の安永8年[1779]銘石材
 - ・二之丸南の月見櫓南＝天保11年[1840]
 - ・二之丸東面＝天保3年[1832]
 - ・二の丸南（千鳥橋北詰め）＝嘉永4年[1851]
 - ・祈禱櫓、腰曲輪北西など

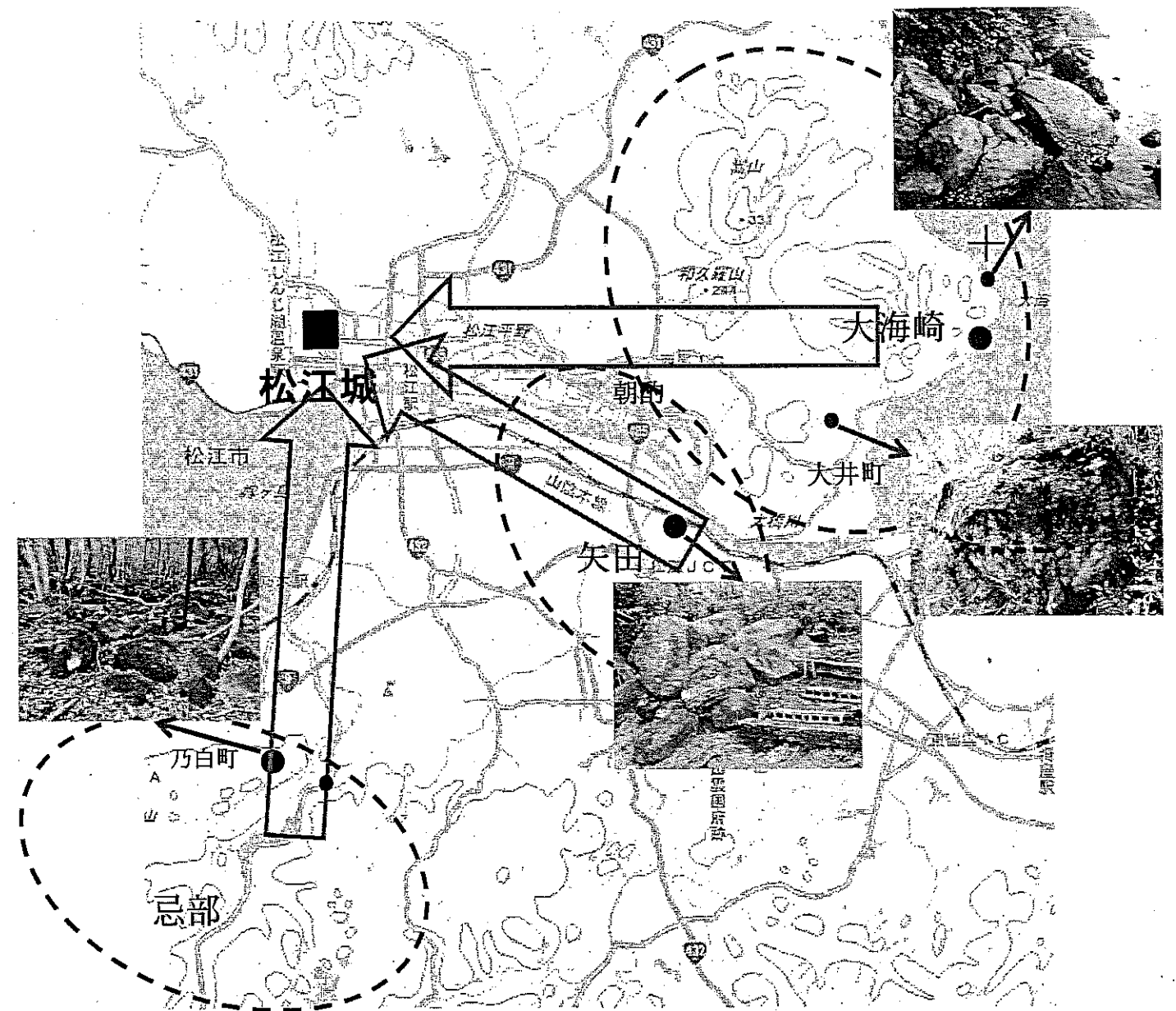
3. 築城期（堀尾期）の石垣

- (1) 残っている場所
- (2) 見どころ
 - ・天守台
 - ・本丸一ノ門脇
 - ・二之丸南東高石垣
 - ・中曲輪南端石塁
 - ・腰曲輪
 - ・中曲輪東面
 - ・外曲輪（二の丸下の段）
- (3) 同時期の全国の城郭石垣と比べて－算木積みの程度・石材の加工度－

4. 石材の刻印

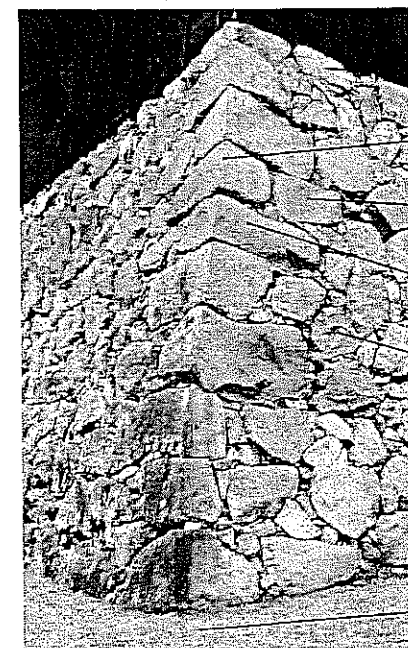
- (1) 刻印の種類と数、刻印がある場所
- (2) 中曲輪南端石塁の分銅文集中
- (3) 刻印の分布から読み取る割普請

5. 石垣は松江城の歴史の生き証人

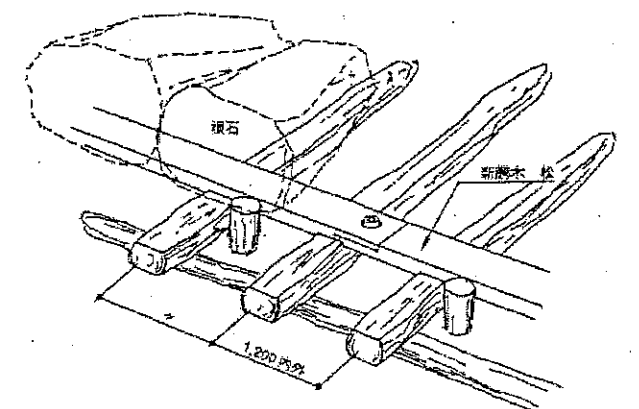


第1図 堀尾期松江城に供給された主要な石材産地

（写真撮影地は必ずしもそこから運び出されたことを証明するものではない）



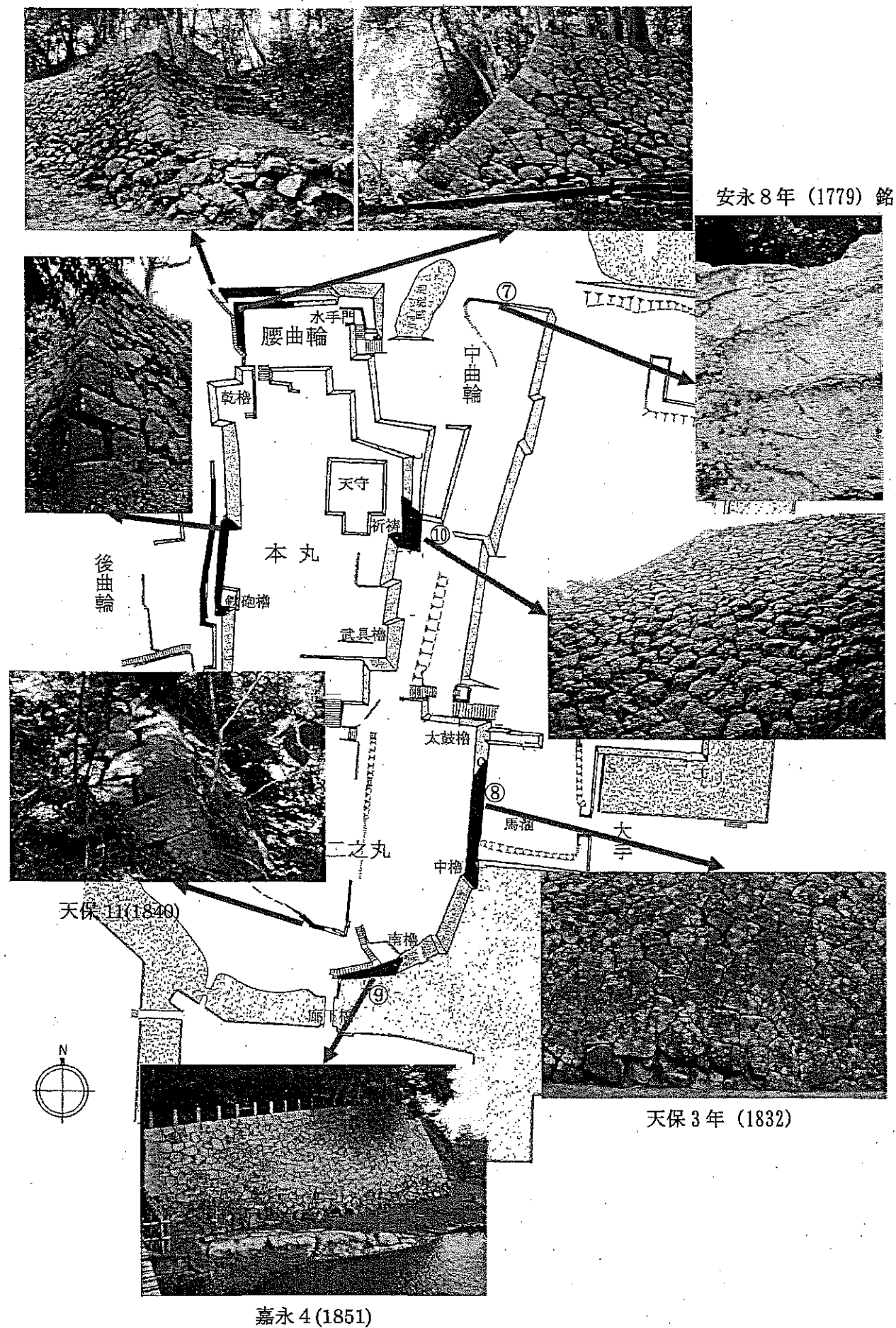
- 天端石
- 隅角稜線
- 角脇石
- 角石
- 築石
- 間詰石
- 根石



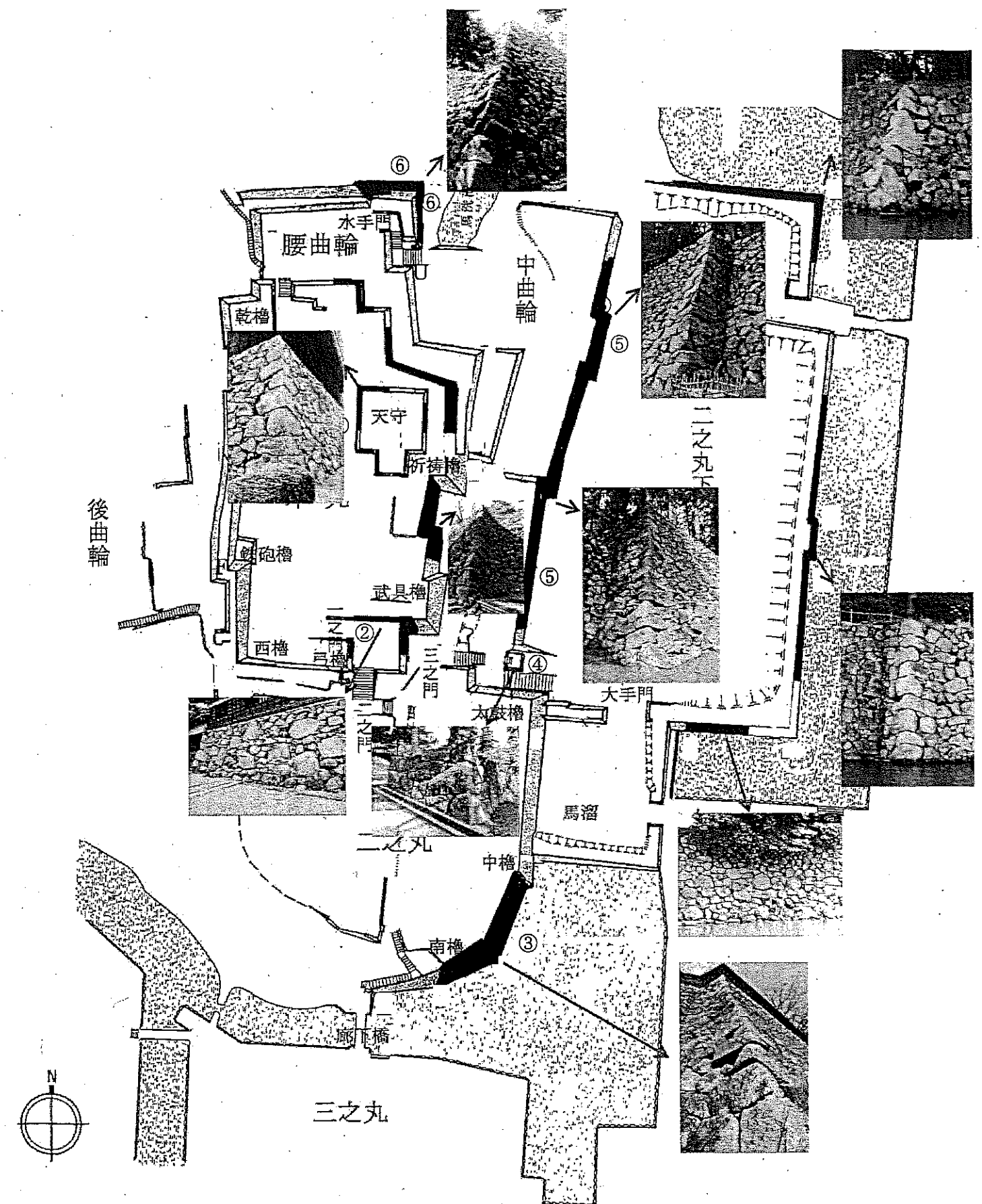
第3図 松江城外曲輪の石垣基部胴木の模式図

松江市教委 2007 から

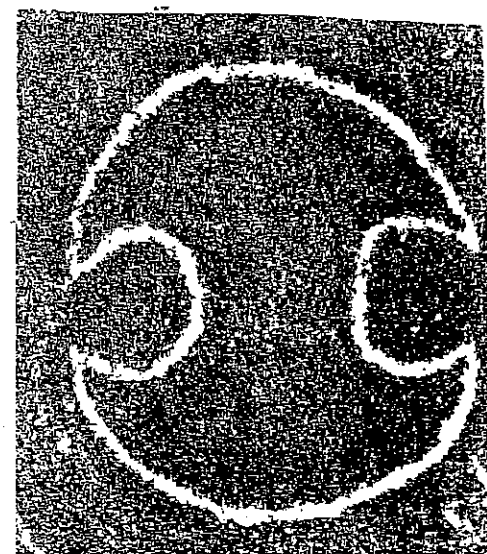
第2図 石垣各部の名称（各々に役割をもつ石材）



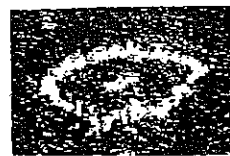
第4図 松江城内の新様式の石垣



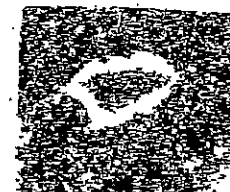
第5図 松江城内の築城期(堀尾期)の構造を残す石垣



分銅



扇に一



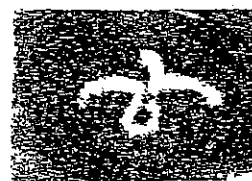
扇



星



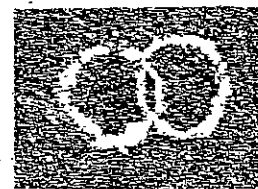
雁



雁



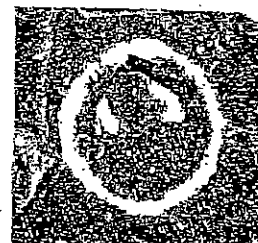
雁



輪違



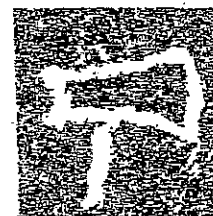
丸に二



丸にい



丸



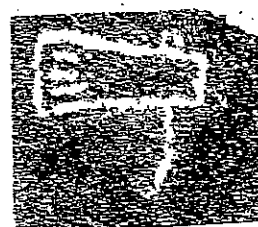
鉞



の



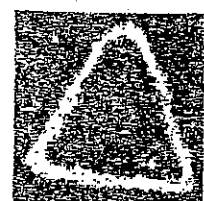
丸に一



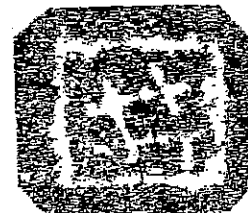
鉞



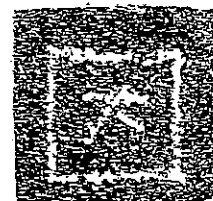
鱗



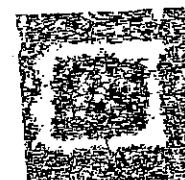
鱗(三角)



口に井



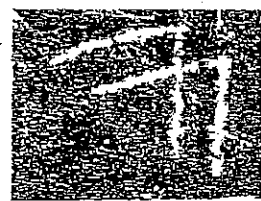
口に大



口



はさみ形



二重の山



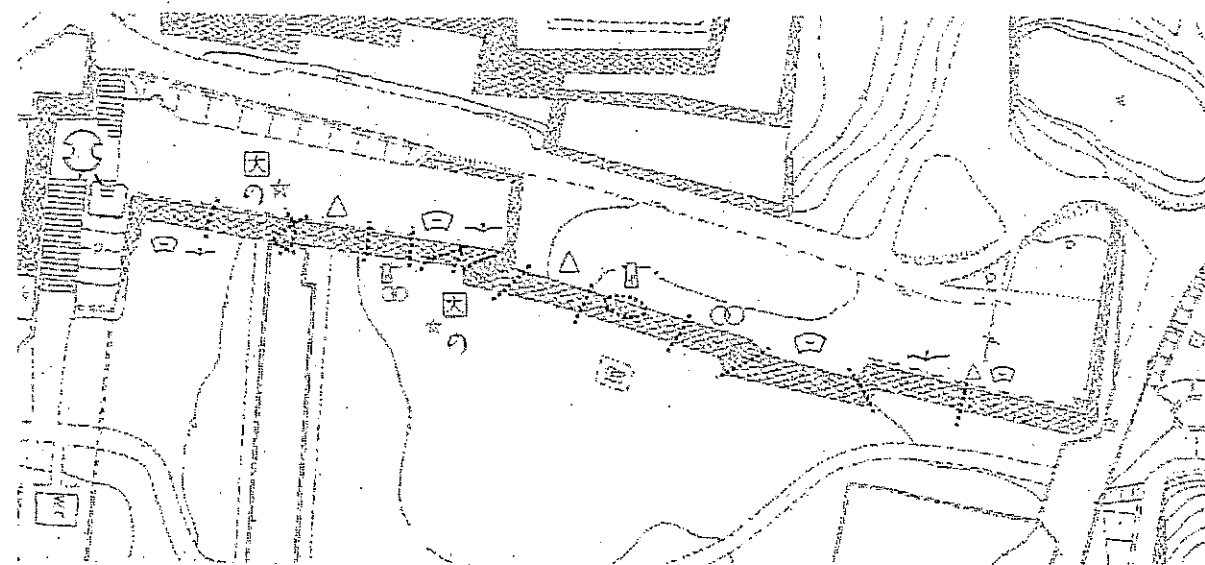
小三郎



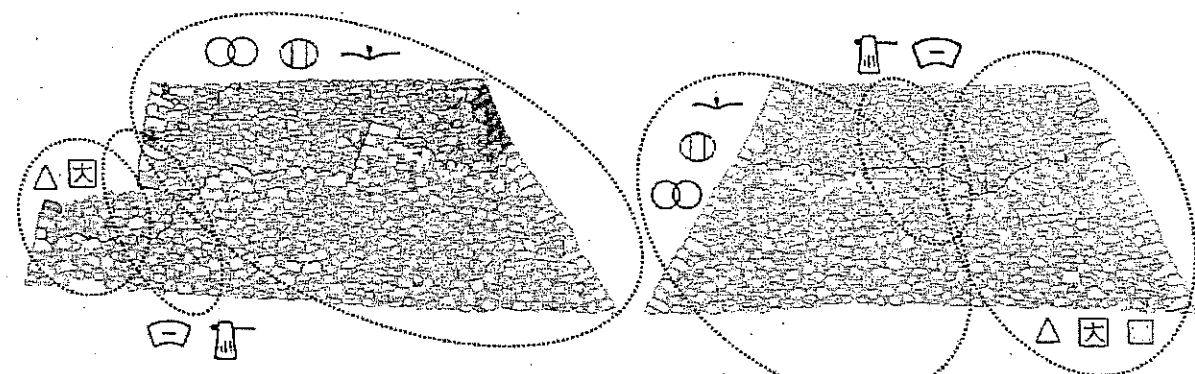
鍵?

(矢穴割付の可能性も)

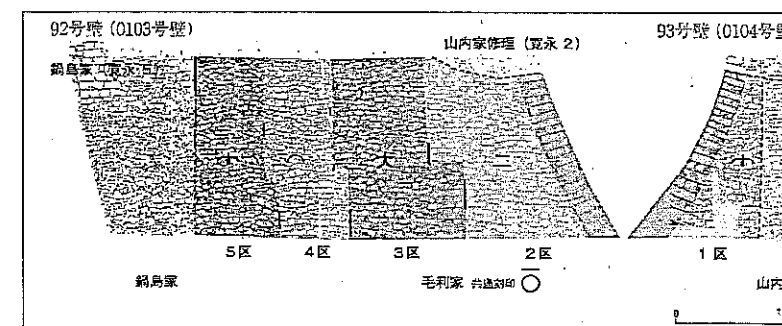
第6図 松江城の石垣石材の刻印各種 松江市教委各報告書から作成



第7図 松江城中曲輪東面石垣の刻印分布

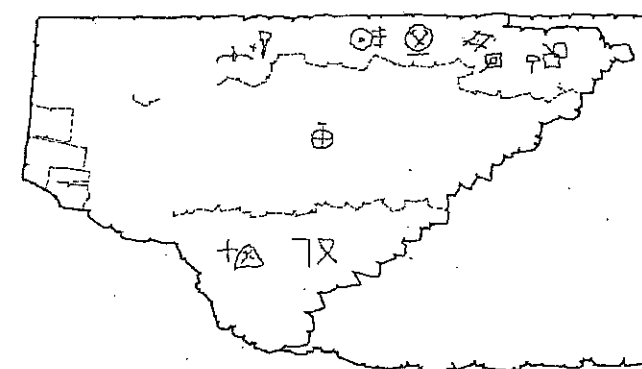


第8図 松江城腰曲輪東面・北面石垣の刻印分布



第9図 徳川氏大坂城玉造口の毛利家担当石垣内の指標刻印分

北野博司 2012 「大坂城再築における石額普請の組織と技術」『城郭石垣の技術と組織』から



第10図 尾張名古屋城二の丸東門石垣刻印分布

高田祐吉 2001 『石垣刻印が明かす築城秘話 名古屋城』から